

最近の構造設計に関する講演会のご案内

近年わが国では震度 5 以上の強い地震が頻発しております。平成 8 年から平成 17 年までの 10 年間で震度 5 以上の地震数は日本全国で 43 回、平成 18 年から平成 27 年までの 10 年間では 61 回、なかでも平成 23 年には東北地方太平洋沖地震は震度 7 で津波も発生し甚大な被害があったことはまだ記憶に新しいところです。平成 28 年の 1 年間でも 6 回、そのうち熊本地震では震度 7 の振れが 3 日の間に 2 回連続して起こり、多数の死者、負傷者、建物の被害が発生しました。建築構造設計にかかわる技術者の責任の重さが再認識されるようになってきました。

さて大分県においては鉄筋コンクリート造の高層ビルが次々と建築されるようになり、また免震構造もあらゆる用途の建物に使われるようになって参りました。そこで来る 4 月 22 日に最近の構造設計の動向に関しまして以下のような講演会を企画いたしましたので、ご案内申し上げます。

■講演内容

1. 鉄筋コンクリート構造における最近の動向と課題

講師 平石久廣氏（明治大学理工学部建築学科 教授）

2. 免震構造の最近の動向と課題

講師 澤田研自氏（日本免震構造協会 専務理事）

- 日時 平成 29 年 4 月 22 日（土） 14:00～17:30
- 会場 ホルトホール大分 403 号室
- 定員 45 名（先着順、定員に達し次第締切）
- 参加費 無 料
- CPD 3 単位認定

主催 一般社団法人 大分県建築構造技術センター

共催 公益社団法人 大分県建築士会、一般社団法人 日本建築構造技術者協会大分支部

会場の都合により聴講者数に限りがございます。聴講ご希望の方はお早めに参加者氏名、勤務先及び E メールを電話・FAX・メールにてご連絡ください。

連絡先 大分県建築構造技術センター 担当 羽仁

E メール k-center@obj.or.jp

電話 097-529-5565 FAX 097-529-7701